

胃内視鏡検査を受けられる方へ

様

検査日 月 日 曜日 午前 時 分までにご来院ください

● 検査前日

- ・前日の夕食は夜9時までに済ましてください。
- ・その後、検査までの間は水分、お茶、紅茶、スポーツ飲料は飲んでいただいて結構ですが、その他のものは食べたり飲んだりしないでください。
- ・内服薬はいつものように飲んでください。

● 検査当日

- ・朝食は食べないでください。
- ・水分、お茶、紅茶、スポーツ飲料は飲んでいただいても結構です。
(牛乳、ジュース、アルコール類などは止めてください)
- ・高血圧、心臓病などのお薬はいつものように飲んでください。
- ・糖尿病のお薬は飲まないでください。インシュリンも注射しないでください。
- ・女性の方はなるべく薄化粧にていらしてください。

● ご来院の注意事項

- ・なるべくゆったりとした服装でいらしてください。
- ・鎮静剤(ぼーっとする薬)による検査を希望される方は、検査後危険ですので車を運転して来院しないでください。
- ・現在内服している薬(くすり手帳)をすべて持参してきてください。

● 検査手順

- ・最初に胃液を取り除くお薬を飲んでもらいます。
- ・細いビニールのチューブを使用して鼻の穴に麻酔をかけます。
- ・左側を下にしてベッドに横たわり、少しあごを前に出し、膝を軽く曲げます。
- ・検査中は唾液を飲み込まないでだらだらと出してください。
- ・鼻からの検査中は会話ができます。

● 検査後

- ・検査後、1時間程は食べたり飲んだりしないでください。
- ・消化の良い食事で刺激物の飲食は避け、タバコ、お酒は止めて下さい。
- ・検査中は空気をいれて胃をふくらませるため、お腹が張った感じがあるかもしれませんが、検査後にはガスが出て自然に治りますのでご安心ください。
- ・激しいお腹の痛みが続く、血を吐く、黒い便が出る、肛門から血がポタポタ出た時は、当院に連絡して下さい。少量の出血なら心配ありません。
- ・検査中に注射をされた方の中には頭痛、嘔気、嘔吐、めまい、喉が渇く、目がチカチカしたり、物が二重に見えたりすることがありますが、徐々に改善されれば心配ありません。
- ・検査時に胃の中を見やすくするために色のついた薬を入れることがあります。
その場合、検査後に尿や便に色がついたり、胸やけがすることがありますが心配ありません。
- ・鎮静剤(ぼーっとする薬)による検査を希望される方は、検査後1時間程お休みしてからお帰りいただきます。(車の運転はさけてください)
- ・検査時に組織やポリープを取った方は約1週間後に病理検査結果を説明します。

胃内視鏡検査 問診票

年 月 日 ID _____ 名前 _____

身長 _____ c m 体重 _____ k g 血圧 _____ / _____

- 今までに胃内視鏡検査を何回受けましたか？ _____回
- 経鼻内視鏡検査（鼻からカメラを挿入）を受けたことがありますか？（はい・いいえ）
- 鎮静剤（ボーっとする注射）を使って検査をしたことがありますか？（はい・いいえ）
- 胃内視鏡検査はつらかったですか？（苦しかった・やや苦しかった・楽だった・覚えていない）
- 検査時・検査後に具合が悪くなったことがありますか？
（特になし・冷や汗・はきけ・めまい・動悸・その他 _____）
- 歯の麻酔（局所麻酔）で気分が悪くなったことがありますか？（はい・いいえ）
- 薬のアレルギーはありますか？（はい・いいえ）薬の名前は？ _____
- 抗凝固剤や抗血小板剤（血液をさらさらにする薬）を飲んでいますか？（はい・いいえ）
薬の名前は？ _____（ワーファリン・パナルジン・バイアスピリン・バファリン）
- 高血圧はありますか？（はい・いいえ）
- 糖尿病はありますか？（はい・いいえ）
- 心臓・脳の病気はありますか？（はい・いいえ）
（病名は？ _____ 不整脈・狭心症・心筋梗塞・脳梗塞）
- 緑内障（眼圧が高い）はありますか？（はい・いいえ）
- 腹部の手術を受けた事がありますか？（はい・いいえ）手術名 _____
- 鼻の手術を受けた事、副鼻腔炎（蓄膿症）、アレルギー性鼻炎がありますか？（はい・いいえ）
- 男性の方にお聞きします。前立腺肥大（尿が出にくい）はありますか？（はい・いいえ）
- 女性の方にお聞きします。現在妊娠中もしくは授乳中ですか？（はい・いいえ）
- 胃内視鏡検査は鼻からか口からかどちらを希望しますか？（ 鼻 ・ 口 ）

胃内視鏡検査の同意書

胃内視鏡検査は食道・胃・十二指腸を詳細に観察して診断します。

当院の胃内視鏡検査は直径6mmほどの細い管（経鼻細径内視鏡）を用いて鼻から挿入して行います。なお鼻腔が狭く鼻から挿入できない患者さまや口からの検査を希望される患者さまは口からの検査をさせていただきます。

また、ご希望がございましたら鎮静剤（ぼーっとする薬）を使つての検査もいたします。ただし、その場合には検査後危険ですので車の運転はできません。

検査中に精密検査が必要と判断した場合には生検（胃の組織の一部をつまみ取る検査）をさせていただきますことがあります。

抗凝固剤や抗血小板剤（ワーファリン・パナルジン・バイアスピリン・バファリンなど）を内服中の患者さまは出血しやすいため事前にお申し出ください。薬のアレルギーがございましたら事前にお申し出ください。

胃内視鏡検査は安全な検査ではありますが、ごく稀に以下に述べるような合併症が起こることがあります。

- 穿孔：消化管壁に穴が開いた場合には緊急手術が必要になることがあります。
- 出血：検査や生検（胃の組織の一部をつまみ取る検査）などで出血する可能性があります。一般的には内視鏡的処置や薬にて速やかに止血されますが、ごく稀に輸血や緊急手術が必要になる場合があります。
鼻からの検査の場合には鼻出血を起こす場合があります。
- ショック：検査や検査時に使用する薬にてショック（呼吸抑制、血圧低下、徐脈、薬のアレルギーなど）を起こす場合があります。

当クリニックでは上記の危険性に細心の注意を払いながら内視鏡検査を行います。万が一、合併症が発生した場合には最善の処置をいたします。

平成 年 月 日 寺田クリニック 説明医師：寺田博文

以上のような内視鏡検査の内容および合併症について十分理解できましたので検査を受けることに同意します。

平成 年 月 日 氏名 _____